

ホクレン営農支援情報

(2022年7月号)

● さつまいもの産地化に向け定植作業を実施 《苫小牧支所営農支援室》

JA 伊達市では、温暖な気候条件や水はけの良い土壌条件を生かし、昨年度から新たな振興作物として、さつまいもの試験に取り組み、ホクレン苫小牧支所営農支援室も協力しています。今年は、府県から取り寄せた切苗を使用するとともに、ウイルスフリーポット株を使って増殖した苗や、昨年の試験で収穫したさつまいもを種いもとして増殖した苗を使って定植を行いました。

今年の試作圃場は7カ所で、5月23日より定植を開始し、6月11日までに完了しました。品種は、ベニアズマ、ベにはるか、シルクスweetの3種です。今後は、圃場管理、生育調査などを継続し、10月頃の収穫を見込んでいます。収穫物は、種いもや調査用のサンプルを除き、実販売も実施する予定です。



さつまいもの定植の様子

● 肥料コスト低減に活用できるツールのご紹介 《営農支援推進課》

(1) 「緑肥利用マニュアル」の活用

肥料等の高騰や環境にやさしい農業への関心の高まりから、緑肥の活用が注目を集めています。緑肥は、名前の通り植物そのものを肥料成分として利用する他、土壌物理性

や生物性改善などの土づくりに生かすもので、主にイネ科やマメ科の植物が使われます。農業・食品産業技術総合研究機構が緑肥の有効活用について紹介した「緑肥利用マニュアル」を公開しています。このマニュアルでは、緑肥の種類や導入効果、種類ごとの導入技術などについて分かりやすく解説しています。緑肥活用による減肥を考える際の参考として、ぜひ、ご覧ください。



(2) 「適正施肥に向けた Web 研修会」の動画を公開中

YouTube 内のホクレンアグリポートチャンネルでは、ホクレン肥料農薬部 技術普及課が6月17日に開催した「適正施肥に向けた Web 研修会」の動画を公開しました。肥料高騰を踏まえ、北海道施肥ガイドに基づく適正施肥について解説しています。適正施肥の考え方や土壌分析、有機物施用による施肥の増減など、肥料コスト低減に向け、ぜひ、ご視聴ください。

公開動画	収録時間
北海道施肥ガイドと適正施肥の考え方	6:36
適正施肥の3ステップ	16:51
適正施肥に基づく肥料の選び方	9:04



「適正施肥動画」再生リスト 2次元コード



(3) 「土壌分析と施肥設計」を紹介したアグリポート

2022年2月に発行したアグリポートVOL.35 特集では、「土壌分析と施肥設計」として、土壌分析に基づく適正施肥や施肥設計の方法などについて紹介しています。ぜひ、参考にしてみてください。

バックナンバー

アグリポートVOL.35 (2022年2月1日発行)

特集「土壌分析と施肥設計」

- 土壌分析に基づくちょうどいい施肥
- 土壌分析を活用し、小麦の多収栽培を実現
- 土壌や肥料計算の知識を深める書籍



<https://www.hokuren.or.jp/kouho/ap/backnumber/35.pdf#page=4>



●オホーツク JA 青年部との意見交換会で情報提供《畑作物水稻開発課》

6月16日に、北見農業会館でWebも活用し「第2回 オホーツク JA 青年部・ホクレン意見交換会」が開催され、青年部やJA北海道中央会、ホクレンから65名が参加しました。

北見支所物流課からの物流情勢に係る説明や、営農支援室からの農作業安全に関する情報、畑作物水稻開発課から「馬鈴しょと春播き小麦の品種開発」について情報提供を行いました。

参加者からは、開発品種の馬鈴しょ「コナヒメ」や、新品種候補の春播き小麦「HW8号」などに関し、栽培方法や品種特性など多くの質問が寄せられました。直接伺った率直なご意見やご要望を、今後の品種開発に役立てていきます。また、今後は他産地でも同様に情報発信を行い、品種開発の方向性などについて積極的に意見交換したいと考えています。



● 園芸作物開発課 試験圃場の見ごろカレンダーについて 《園芸作物開発課》

園芸作物開発課では、人参、玉ねぎ、かぼちゃなど8品目について、園芸品目の品種開発に関わる試験を実施しています。この度、収穫時期などを示した見ごろカレンダーを作成しました。視察などの受け入れも行っていますので、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

[問い合わせ先] 園芸作物開発課 Tel.0123-88-1990

園芸作物開発課試験 見ごろカレンダー

品目	試験内容	栽培歴																				
		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
人参	【青果用品種の開発】			●				●														
	【加工用品種の開発】																					
玉ねぎ	【極早生品種の開発】																					
かぼちゃ	【省力化栽培に向けた品種の開発】																					
ブロッコリー	【加工用品種の開発】																					
スイートコーン	【青果用品種の開発】																					
	【加工用品種の開発】																					
トマト	【スライスカット用品種の開発】																					
	【へたなしミニトマト品種の開発】																					
レッドビート	【加工用品種の開発】																					
	※時期は変更になる可能性があります																					
スターチス シヌアータ	【品種比較試験】																					

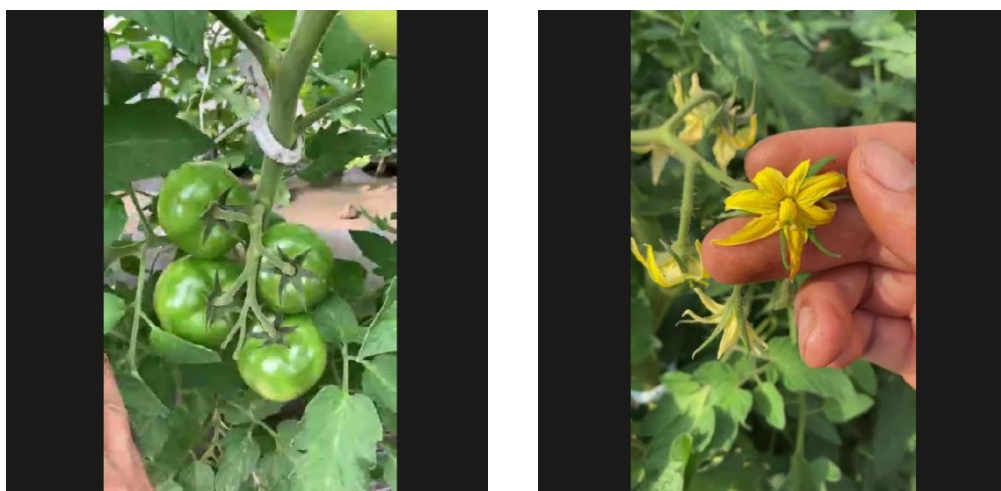
表記内容



● トマト・ミニトマトの研修会を圃場から Web で実施 《営農支援推進課》

6月21日に長沼研究農場において、トマトやミニトマトの栽培技術などを学ぶ Web 研修会が開催され、4名が参加しました。

今回の研修会は、スマートフォンを使って、ビニールハウス内の作物の映像を受講者と共有しながら、生育時期に合わせた栽培のポイントなどを学ぶもので、試験的な取り組みです。今後、受講者の評価や意見など踏まえ、遠隔地やコロナ禍等で農場に来るのが難しい場合でも、「青空講習会」のように作物を見ながら学ぶことができる、新たな研修方法として構築できるよう取り組んでいきます。



スマートフォンによるミニトマトの映像

ホクレンの営農情報誌「アグリポート」
なるほど!
明日に役立つ、“わかる” 営農情報を掲載!
アグリポート ホームページ
YouTube チャンネル
YouTube は Google LLC の商標です

発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp